

論文募集のご案内

第16回建設ロボットシンポジウム

—実証から実用へ、建設ロボットの新たなステージ—

開催日： 2016年8月31日（水）～9月2日（金）

会場： 中央大学 後楽園キャンパス
（東京都文京区春日1-13-27）

■主催（順不同・申請中） 公益社団法人土木学会，一般社団法人日本建築学会，一般社団法人日本ロボット学会，一般社団法人日本ロボット工業会，一般財団法人先端建設技術センター，一般社団法人日本建設機械施工協会

■協賛（順不同・申請中） 一般社団法人日本機械学会，公益社団法人計測自動制御学会，公益社団法人精密工学会，一般社団法人電気学会，公益社団法人日本測量協会，公益社団法人地盤工学会，一般社団法人日本建設業連合会

■趣旨

今般、建設ロボット研究連絡協議会主催による「第16回建設ロボットシンポジウム」を開催いたしますので、ここにご案内申し上げます。2011年の東日本大震災とそれに伴う福島原発事故、気候変動に起因した紀伊半島豪雨や広島土砂災害等、近年建設ロボット技術の利用が望まれる災害が多発しています。また、2012年の笹子トンネル天井板落下事故以来、老朽化したインフラの点検、補修が喫緊の課題としてクローズアップされています。これらの自然災害や事故を受け、災害現場、インフラ点検等へのロボット技術の実用化に向けた多くの国家プロジェクトが立ち上がり、実証試験が次々と始まっています。このような中、2015年1月には内閣府からロボット新戦略が発表され、その中のアクションプランの一つとしても、今後の深刻な技術者、作業員不足への対応や災害への迅速な対応に向けたインフラ・災害対応・建設ロボット技術の開発推進が謳われています。この先30年とも40年とも言われる福島第一原発の廃炉作業にも、建設ロボット技術は不可欠です。

建設ロボット技術に関しては、これまでも、施工のロボット化、ICT化、インフラ点検、環境モニタリング、パワーアシストスーツ等の、システム化技術、要素技術について数多くの開発実績が積み上げられています。そして、現在取り組みが加速している実証、実用化のためには、新たな技術開発だけでなく、これら既存の要素技術、システム化技術を統合し、現場の要求にあったスペックに作り込んでいくフェーズも重要です。現状は、実用化に向けた実証試験が実施され、実用化の目的が立ちつつあるもの、現場適用に向けたシステム化技術に課題の残されたもの、要素技術のレベルアップが必要なもの等、その対象毎に課題が明らかになりつつある段階と考えることができます。

様々な現場で期待される建設ロボットの多くは、道具として利用される単体のロボットだけではなく、施工方法や点検方法に組み込まれたシステムの一部として、あるいは現場全体がロボットシステムとして機能します。建設ロボットの実用化に向けては、システムとして最大限にパフォーマンスを発揮することのできるインテグレーション技術がカギを握ります。そして、これを加速・推進させるには、建設に関わる様々な分野の技術者、研究者の分野横断的な協力が欠かせません。本建設ロボットシンポジウムは、土木、建築、機械を始めとした建設ロボットを担う研究者、技術者が一堂に会する日本で唯一の学会横断的な学術講演会です。そこでの学術、技術情報の交流は、将来の国土を支えていくための技術、システムを確立していく上で、重要な役割を担っています。

今回のシンポジウムも第15回建設ロボットシンポジウムの実施方法を踏襲し、建築、土木、ロボット・機械の各分野が密接に交流し、建設ロボットに関する十分な意見交換ができるよう、口頭発表はシングルトラックとし、ポスターセッションを併催いたします。

関連する各分野からの積極的な論文のご応募とご参加を頂きます様、ご案内申し上げます。

■募集テーマ

論文の応募に際しては、以下のテーマをご参考下さい。このほかの建設ロボットに関するテーマも歓迎いたします。詳細は URL をご参照ください。

- (1) 建設生産についての将来展望 (2) 建設生産技術の高度化・高信頼化 (3) アプリケーションと新領域 (4) 点検・維持管理 (5) ロボット・キーテクノロジー

■応募要領

(1) 発表申込み

発表を希望される方は平成28年4月8日(金)までに、発表題目、発表者名、関連項目番号(上記募集テーマの項目番号を記入。例：遠隔作業移動ロボットによる危険物処理 ⇒ (3)④, (3)⑧, (5)②, (5)⑧。該当がない場合は適切なキーワードを2, 3挙げて下さい。), 希望発表形式(口頭またはポスターの別), 所属, 連絡先を事務局 (scr16-sec@ccrr.jp) までメールにてご連絡ください。

なお、提出原稿が6ページ未満の場合、発表形式はご希望によらずポスター発表とさせていただきますが、下記口頭発表の原稿提出締切日までに6ページから8ページまでの原稿をご提出いただきました場合、口頭・ポスターどちらの発表形式としてご発表いただくかはプログラム委員会にご一任下さい。

(2) 口頭発表

口頭発表を希望される方は本論文原稿(6ページ以上8ページ以内)を平成28年5月6日(金)までに事務局メールアドレスに提出ください。採否は6月初旬までにお知らせいたします。採択の場合は平成28年6月30(木)までに最終原稿をご提出いただきます。

(3) ポスター発表

ポスター発表を希望される方は、平成28年6月30日(木)までに最終原稿(2ページ以上6ページを超えない)をご提出いただきます。査読はありませんが発表の可否につきましてはプログラム委員会で判断をいたします。

(4) 原稿のフォーマット:

論文等の原稿は執筆要領に従いPDFで作成して下さい。フォーマットは添付見本を参照してください。

■参加登録料

(1) 一般: 20,000円(資料代、講演1件の発表を含む。ただし平成28年7月末までに登録をしていただきます。期日後は25,000円。)

(2) 学生: 聴講は無料

問合せ先・送付先

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

中央大学理工学部精密機械工学科 大隅研究室内

第16回建設ロボットシンポジウム事務局

TEL: 03-3817-1824, FAX: 03-3817-1824

E-mail: scr16-sec@ccrr.jp

URL: <http://www.ccrr.jp/>